

令和8年度第1回伊賀地域高等学校活性化推進協議会

令和8年8月3日

配 付 資 料

- 令和8年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会委員名簿・・・・・・・・・・ P 1
 - 伊賀地域高等学校活性化推進協議会設置要綱・・・・・・・・・・ P 2
 - 【資料1】 令和7年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会のまとめ・・・・・・・・ P 3
 - 【資料2】 伊賀地域の高等学校等の学科・コースについて（令和9年度）・・ P 5
 - 【資料3】 伊賀地域の県立高等学校の特色（各学校より）・・・・・・・・ P 6
 - 【資料4】 伊賀地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況・・・・・・・・ P13
①令和8年度、②令和7年度
 - 【資料5】 各高等学校の入学者の出身中学校・・・・・・・・・・ P15
 - 【資料6】 伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況（5力年比較）・・・・・・・・ P16
 - 【資料7】 伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況（北部・南部）・・・・・・・・ P17
①令和8年3月卒、②令和7年3月卒
 - 【資料8】 伊賀地域の県立高等学校（全日制）卒業生の進路状況・・・・・・ P19
 - 【資料9】 令和7年度まとめに基づく検討状況・・・・・・・・・・ P20
 - 【資料10】 令和8年度の協議について・・・・・・・・・・ P21
 - 【資料11】 伊賀地域の中学校卒業生数と県立高等学校入学定員（全日制）
の推移・・・・・・・・・・ P22
 - 【資料12】 伊賀地域の中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）・・・・・・・・ P23
①市別、②北部・南部別
 - 【資料13】 伊賀地域の高等学校等の学科・コース・系列について
（令和9年度）・・・・・・・・・・ P25
 - 【資料14】 伊賀地域の県立高等学校（全日制）への交通手段等・・・・・・・・ P27
 - 【資料15】 学校施設の老朽化の状況・・・・・・・・・・ P29
 - 【資料16】 令和22年度までの伊賀地域の県立高等学校（全日制）の
総学級数について・・・・・・・・・・ P30
-
- 【別冊1】 令和7年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会のまとめ（令和7年12月）
 - 【別冊2】 県立高等学校活性化計画（令和4年3月）
 - 【別冊3】 県立高等学校の学び並びに配置及び規模の在り方について 答申
（令和8年3月）

令和8年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会 委員

No	区 分	所 属 等	名 前	
1	学識経験者 (1名)	三重大学大学院 地域イノベーション学研究科 准教授	か とう たか や 加 藤 貴 也	継続
2	有識者 (4名)	株式会社堀川商店 代表取締役社長	ほり かわ こういちろう 堀 川 紘一郎	新
3		株式会社寿被服 代表取締役	おく たに かず ひさ 奥 谷 和 久	新
4		株式会社ネクスト・ワン 代表取締役	たか だ まさ ゆき 高 田 雅 之	新
5		オキツモ株式会社 経営管理部総務課長	か とう こう し 加 藤 幸 司	継続
6	市教委教育長 (2名)	伊賀市教育委員会 教育長	さわ だ つよし 澤 田 剛	継続
7		名張市教育委員会 教育長	にし やま よし かず 西 山 嘉 一	継続
8	県立学校長代表 (3名)	あけぼの学園高等学校 校長	なか しば とも ひろ 中 柴 友 宏	再
9		伊賀白鳳高等学校 校長	いま たか しげ のり 今 高 成 則	継続
10		名張高等学校 校長	ほり こし ひで のり 堀 越 英 範	新
11	小中学校長代表 (2名)	伊賀市小中学校長会 代表 (伊賀市立崇広中学校 校長)	にし ぐち ひさし 西 口 寿	新
12		名張市小中学校長会 代表 (名張市立名張中学校 校長)	ふく しま よし かず 福 島 良 和	新
13	P T A関係者 (5名)	伊賀市P T A連合会 顧問	ふく はら たけし 福 原 武	新
14		名張市P T A連合会 会長 (名張市立北中学校P T A)	かわ はら やす たか 川 原 康 馨	新
15		伊賀地区県立学校P T A協議会 会長 (伊賀白鳳高等学校P T A 会長)	ふく さわ のぶ え 福 澤 信 江	新
16		伊賀市内県立学校P T A 代表 (上野高等学校P T A 会長)	おお やぶ しょう いち 大 薮 章 一	新
17		名張市内県立学校P T A 代表 (名張青峰高等学校P T A 会長)	なか がわ ひろ ゆき 中 川 博 行	新
18	教員代表 (2名)	小中学校教員 代表 (伊賀市立上野西小学校 教諭)	ふく もと しん や 福 本 真 也	継続
19		高等学校教員 代表 (伊賀白鳳高等学校 教諭)	よね かわ もり ゆき 米 川 森 幸	継続

計19名

伊賀地域高等学校活性化推進協議会設置要綱

(設 置)

第1条 県立高等学校の活性化を推進し、地域社会における高等学校の特色化、魅力化を図り、生徒にとって魅力ある学習環境を整備するために、伊賀地域高等学校活性化推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について具体的に協議する。

- (1) 今後の伊賀地域全体における県立高等学校の在り方に関する事
- (2) 施設・設備に関する事
- (3) 県立高等学校活性化推進に資する事
- (4) その他検討を要する事

(組 織)

第3条 協議会は、学識経験者、有識者、小中学校PTA関係者、高等学校PTA関係者、関係市教育委員会教育長、小中学校長代表、県立学校長代表、教員代表等で組織する。

- 2 協議会に、会長、副会長を置く。
- 3 会長及び副会長は、委員の中から互選により決める。
- 4 会長は会務を総理し、副会長は会長を補佐し会長に事故ある時は職務を代行する。
- 5 協議会は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(調査委員会)

第4条 協議会のもとに、必要に応じて調査委員会を設置する。

- 2 調査委員会は、テーマに応じて会長の指名する関係者で構成する。

(会 議)

第5条 協議会は、会長が招集し、会長が議事運営する。

- 2 協議会の庶務は県教育委員会事務局において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項は会長が定める。

附 則

この要綱は平成17年7月21日から施行する。

附 則

この要綱は平成19年5月18日から施行する。

附 則

この要綱は平成19年10月2日から施行する。

附 則

この要綱は平成23年1月17日から施行する。

附 則

この要綱は平成23年8月29日から施行する。

附 則

この要綱は平成24年7月10日から施行する。

附 則

この要綱は平成29年9月4日から施行する。

4 今後の伊賀地域における県立高等学校の学びと配置のあり方について（当協議会のまとめ）

（1）学びと配置のあり方の方針

- 当地域の子どもたちに多様で豊かな学びを提供することを第一の価値観に据えて検討する。
- 少子化の中にあっても、当地域にどのような高校が必要なのか、未来に向けて前向きに発想する。
- 令和 10 年度以降の学級減への対応については、15 年先（令和 22 年度）を見据えて方向性を取りまとめる。
- 他地域へ進学する生徒が一定数あることから、地域の子どもたちが地域で学べるよう、普通科、専門学科、総合学科の学科・コース・系列など多様な学びの選択肢をできるだけ維持する。
- 大学進学ニーズに応える高校が地域に必要であり、多様な選択科目の開設や専門性の高い教員配置のためには、少なくとも 1 学年あたり 6 学級あることが望ましい。
- 部活動の活性化や学校行事の充実のためには、一定の学校規模があることが望ましい。
- 不登校を経験した子どもたち、外国につながるのある子どもたち、特別な支援を必要とする子どもたちなど、多様な子どもたちが安心して通える教育環境を実現する。
- 伊賀北部と南部に分けるだけではなく、隣接する地域の状況もふまえて伊賀地域全体で考える。
- 学びや機能などのソフト面と施設設備や立地などのハード面は分けて検討する。
- 通学方法や通学時間、交通費など通学に係る状況を考慮する。通学時間については、概ね 90 分以内、できれば 60 分以内となることが望ましい。
- 当地域の私立通信制高校の動向を注視しつつ、公立高校として多様なニーズにどのように応えていくのかを、全日制課程だけでなく定時制や通信制課程を含めて検討する。

（2）1 学年あたり 10～12 学級となることが想定される 15 年先（令和 22 年度）の学びと配置のイメージ

- 伊賀地域の高校の学びと配置のあり方は、北部と南部に分けるのではなく、地域全体で考える。
- 「学びと配置のあり方の方針」をふまえると、現在の 5 校は、大学進学ニーズに応える観点と多様な学びの選択肢を提供する観点を重視しながら 2 校へ集約される。
- 当地域内の通学環境を考慮すると、北部に 1 校、南部に 1 校を交通の便が良い場所に配置する。（新築・建替えも検討）

(3) 15年先（令和22年度）を見据えた令和10年度に想定される1学級減への具体的対応

- 大学進学ニーズに応えるため、多様な選択科目の開設や専門性の高い教員配置ができる1学年あたり6学級の高校を、地域に1校は維持する。
- 専門性の高い学びを含む多様な学びの選択肢をできる限り維持しながら、専門学科や総合学科の系列における共通した学びの集約を図る。県内で唯一の「美容の学び」についても当地域の総合学科において維持させる。
- 学校行事、部活動など、子どもたちが協働的に活動できるよう、可能な限り一定の学校規模を維持する。
- 定時制のあり方や入試制度を含め、学びのセーフティネット機能※の充実を図り、不登校を経験した生徒、外国につながるのある生徒、特別な支援が必要な生徒など、多様な子どもたちがどの学校においても安心して学べる教育環境を整える。日本語の指導や「学び直しの機能」の充実については定時制を中心に進め、通級による指導については全日制への導入をめざす。
- こうしたことから、令和10年度入学者選抜（令和9年度実施）からあけぼの学園高校の募集を停止し、5校を4校に再編することにより当地域の子どもたちの多様で豊かな学びを維持するとともに、当地域の県立高校の一層の特色化・魅力化を図る。

(4) 今後の協議について

- 当協議会では、他地域に先駆けて、当地域の高等学校の学びと配置のあり方についてとりまとめてきました。このことは、新しい専門学科の設置や普通科改革など、地域の高等学校の活性化の取組となり、未来を前向きにとらえた当地域における豊かな学びの実現につながっています。
- 中学校卒業者数の急速な減少が進む中、今後も当地域の子どもたちにとって「最善の教育環境を提供し続けること」を第一の価値観に据えて、「15年先の学びと配置のイメージ」の実現に向けた協議を進める必要があります。
- そのため、次期県立高等学校活性化計画の策定に係る協議も注視しつつ、当地域の子どもたちにとって魅力ある高等学校の学びのあり方とそれを具現化する新築・建替えの議論を含めた配置や規模のあり方について、令和9年度を目途に当協議会において考え方をとりまとめる必要があります。

※ 一般的には、あらかじめ予測される危機に備え、被害を最小化するために設けられる制度や仕組みのことで、子どもたちの学びにおいては、経済的・時間的・地理的な制約等に関わらず、安全・安心で充実した教育機会にアクセスできる環境を整えること。（三重県教育ビジョン令和6年3月より）

伊賀地域の高等学校等の学科・コースについて（令和9年度）

1. 全日制課程

県立

- ・上野高等学校（伊賀市） 学際探究科(160)、理数科(80)
- ・伊賀白鳳高等学校（伊賀市） 機械科(35)、電子機械科（35）、建築デザイン科（35）、生物資源科(35)、フードシステム科（35）、経営科（30）、ヒューマンサービス科（35）
- ・あけぼの学園高等学校（伊賀市） 総合学科(40)
- ・名張高等学校（名張市） 総合学科(200)
- ・名張青峰高等学校（名張市） 普通科(160)、普通科【文理探究コース】(40)

私立

- ・桜丘高等学校（伊賀市） 普通科(155)
- ・愛農学園農業高等学校（伊賀市） 農業科（25）＜※県外扱い＞

2. 定時制課程

県立

- ・上野高等学校（伊賀市） 普通科(40)
- ・名張高等学校（名張市） 普通科(40)

3. 通信制課程

私立

- ・英心高等学校桔梗が丘校（名張市） 普通科【探究コース】(60)
- ・神村学園高等部伊賀（伊賀市） 普通科【選択登校型、全日型】(50)＜※県外扱い＞

4. 高等専門学校

私立

- ・近畿大学工業高等専門学校（名張市） 総合システム工学科（160）3年次よりコース選択（機械システム、電気電子、制御情報、都市環境）

○ 課程

- ・全日制：通常の時間帯において授業を行う課程
- ・定時制：夜間その他特別の時間又は時期において授業を行う課程
- ・通信制：通信による教育を行う課程

○ 学科

- ・普通科：普通教育を主とする学科
※普通科、普通教育を施す学科として適当な規模及び内容があると認められる学科（学際領域に関する学科、地域社会に関する学科など）
- ・専門学科：専門教育を主とする学科
【職業系】農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科、看護科、情報科、福祉科など職業教育を主とする学科
【普通科系】理数科、体育科、音楽科、美術科、外国語科、国際関係科など職業系以外の専門教育を施す学科
- ・総合学科：普通教育及び専門教育を選択履修の旨として総合的に施す学科

○ 高等専門学校

実践的・創造的技術者を養成することを目的とした5年一貫教育（商船学科は5年6か月）の高等教育機関であり、理論だけではなく実験・実習を重視した専門教育が行われている

令和8年度 上野高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 日本一、生徒・先生がイキイキしている学校

【めざす生徒像】

伊賀を想い、世界を見据え、社会の課題に挑戦し続ける生徒

2 学校の特色（学際探究科4学級 理数科2学級）

本校は、127年の歴史と伝統があり、多くの卒業生が各方面で活躍しています。学業と部活動の両立をモットーに、9割を超える生徒が部活動（運動部10、文化部9、同好会4）に加入しており、東海大会や全国大会の場で活躍している部もあります。

学習面では、45分授業の利点を生かし、大学での専門的な学びの土台となる英語・数学・国語を丁寧に指導しています。生徒たちは学習意欲が非常に高く、授業後や放課後には教員へ積極的に質問したり、教室や自習室、廊下の自習机などを活用したりするなど、主体的に学んでいます。さらに、放課後や長期休暇中の課外授業も充実させ、学校全体で生徒一人ひとりの進路実現を力強く後押ししています。

予測困難な社会を生き抜く力を育成するため、本校は文部科学省より「スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）」の指定を受けています（令和元年度より指定、現在は第Ⅱ期）。先進的な理数教育、大学との共同研究や台湾の高校生との交流といった特色ある学びを通して、理数科・学際探究科ともに、課題発見・解決能力や国際性を育む活動のさらなる充実を図っています。地域の大学・企業や関係機関と連携しながら、生徒が自らの興味関心に基づく課題に取り組む探究学習を推進しています。

（1）学科の特徴

<学際探究科>

学際探究科は、これまでの普通科の学びに探究的な学びを加えた、新時代に対応する学科です。試行錯誤を繰り返しながら課題解決へのアプローチや主体的な学び方を身につけ、より高い学力の習得をめざします。また、学際探究科独自の行事として、長野県松本市を訪れ「地域・観光」をテーマとした探究活動「信州探究ツアー」を行い、その成果を地元伊賀地域の活性化につながるプランとして提案します。

<理数科>

最新の研究施設と設備を擁する大学・企業等との連携により、生徒の学習に対するモチベーションを高めています。理数科は、理数科ミーティング（理数科1～3年生の集まり）で縦のコミュニケーションも大切にしています。また、理数科独自の行事として、本校卒業生が働いている企業や東京大学を訪問する「東京キャリアアップツアー」や、夏期休業期間に2泊3日で実施する「理数科勉強合宿」等を行っています。

（2）充実した学校生活

バス研修、体育祭、合唱コンクール、文化祭、クラスマッチ、修学旅行（2年次）等の学校行事も充実しており、クラスの仲間等と一緒に楽しい高校生活を過ごすことができます。

総2階建ての図書館は、1階では、日中は落ち着いた雰囲気の中で読書ができ、放課後は主に地域で活躍する様々な分野の外部講師を招いて講演を行うなど、生徒たちの学年や学校の垣根を越えた出会いの場となっています。2階は、静かに一人で学習できる空間として運営しています。

令和8年度 上野高校（定時制）の特色

1 めざす学校像

- 生徒が学びがいを実感する学校
- 保護者・地域が頼りがいを実感する学校
- 教職員が働きがいを実感する学校

2 学校の特色（普通科1学級）

- 本校は、働きながら学べる夜間定時制として歴史が古く、多くの卒業生が社会で活躍しています。
- SHRが17時25分から始まり、授業は17時30分から21時00分までの1日4限授業です。2限終了後にパンや米飯などの給食があります。
- 学科は普通科で、3年と4年では選択科目があり、生徒は興味・関心に応じて学習に取り組んでいます。
- 少人数で一人ひとりに合ったきめ細かな指導を行っています。また「心のふれあい」も大切にしています。
- 国籍や年齢も異なる生徒が、お互いを認め合い、協力しながら一緒に学んでいます。
- 外国籍生徒が、日本語能力試験取得を目指し学習に取り組んでいます。
- 「働きながら学べる学校」として、生徒が昼間働くことを支援するとともに、ハローワーク等と連携を取りながら就職したい生徒への支援を積極的に行っています。
- 授業規律を大切にし、安心して授業に取り組める環境づくりを行っています。また、学び直しにより、基礎学力が身につく学習環境をめざしています。
- 担任や進路指導部、就職実現コーディネーターと連携し、生徒一人ひとりの希望を大切し、生徒の能力や適性に合ったきめ細かい進路指導を行っています。
- 卒業後は、就職する生徒が多いですが、四年制大学に進学する生徒もいます。授業以外の時間に補習を行うなど、個に応じた支援を行っています。
- 生徒会活動も盛んに行っており、文化祭や球技大会、ボウリング大会では、生徒の意見を反映した活動に取り組んでいます。また、バス研修旅行、修学旅行といった学校行事なども行っています。
- 通信制との併修により3年間で卒業することもできます。

本校の夜間定時制では、多くの生徒が昼間働きながら夜間に学んでいます。中学校卒業後に入学する生徒がほとんどですが、編入生や20歳を超えてから入学する生徒もいます。在籍している生徒の国籍、年齢、職業は多様であるとともに、中学校時代に不登校を経験している生徒や、もう一度高校で学び直しをしたいと入学してきた生徒など、一人ひとりの事情は異なります。そのような生徒が、違いを認め合い、お互いを励まし合って家族的な雰囲気の中で、安心して前向きに学校生活を送っています。

授業では、必要に応じて中学校の復習を取り入れるなど、わかりやすい授業展開を心がけています。ICTの活用やアクティブラーニング型の授業も多く、生徒の主体的に学ぶ態度の育成に力を入れています。

生徒の「学びたい」気持ちを大切にして、確かな学力や規範意識を身につけ、社会で活躍できる人材の育成をめざしています。

令和8年度 伊賀白鳳高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 「力」と「志」を持った職業人を育成し、地域に貢献できる学校
～地域の学校として、地域子どもたちを地域で活躍できる人材に育成する学校～

【育みたい生徒像】

- ・自ら学び、判断し、行動する生徒
- ・思いやりの心と規範意識をもち社会に貢献する生徒
- ・専門的な知識・技術を身につけ、未来を切り拓く生徒

2 学校の特色

（機械科、電子機械科、建築デザイン科、生物資源科、フードシステム科、経営科、
ヒューマンサービス科 各1学級）

(1) 専門教育

- 工業・農業・商業・福祉の専門教育のノウハウを集結し、魅力ある7学科11種類の学びを通じて、3年間をととした系統的なキャリア教育を進め、卒業後は各分野のスペシャリストとして伊賀地域での活躍をめざします。
- 1年次の早い段階から「機械科」「電子機械科」「建築デザイン科」「生物資源科」「フードシステム科」「経営科」「ヒューマンサービス科」の各学科・コースに分かれて学びを深めます。
2、3年次には、インターンシップや進路ガイダンスなどのキャリア教育を通じて、自らの将来について考えながら、望ましい職業観や勤労観を身につけ、卒業後に社会人として自立するための意識を高めていきます。
- 前期選抜はそれぞれの学科で募集し、後期選抜は、「工業系」と「農業系」でそれぞれまとめて募集する「くくり募集」を行い、経営科とヒューマンサービス科は学科で募集します。前期選抜で入学した生徒はコースを、後期選抜で入学した生徒は系列内で学科とコースを入学後に決定します。

(2) 地域・企業との協働による人材育成

- 地域や企業との協働による新しい人材育成システム（伊賀版デュアルシステム）を導入し、毎週木曜日に企業や保育園等で学習を行い、職業人として社会で活躍できる人材を育てます。
- 7学科それぞれが、学科の特性を生かして地域や企業と連携した取組を行っています。学科の枠を越えた取組も多く、全学科の生徒が連携して実施する「白鳳フェス」では、各科の実習作品を展示したり、スイーツやジャム、クッキー、観葉植物、野菜など各科の学習成果を即売したりします。

(3) 部活動の振興

- 伊賀地域のスポーツ・文化の拠点として、部活動の振興を図ります。

伊賀白鳳高校では、興味・関心や適性にあった進路を選択し、その実現に向けて基礎学力、専門知識・技術、マナーやコミュニケーション能力を身につけた生徒を育成します。部活動や各種検定・資格試験における成果や地域と連携した活動をとおして、自信・やる気を高め、地域に貢献できる生徒を育成します。

令和8年度 あけぼの学園高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 「強く明るく真心で」を校訓とし、一人ひとりが、あけぼの学園高校の生徒として「自信と誇り」をもち、地域に貢献し地域から信頼される学校

2 学校の特色（総合学科1学級）

あけぼの学園高校は、前身の伊賀高校から平成10年に校名変更、総合学科へ学科改編し29年目を迎えています。「夢を夢で終わらせない！」多様な学びを展開し、充実した学習環境や社会人講師の方々による授業等、しっかりとしたサポート体制のもと学びを深めています。

(1) 総合学科2つの系列

令和8年度入学生より、2年次から2つの系列（令和7年度入学生以前の4系列（美容服飾、製菓調理、情報教養、健康福祉）の学びを再編）に分かれて、一人ひとりが希望する進路実現に向けて、特色ある多くの選択科目から選んで学びます。

○ 美容系列

三重県の県立学校で唯一、美容の幅広い知識や技術を学ぶことができる系列です。ダブルスクール制度（檀原美容専門学校及び伊勢理容美容専門学校の通信制課程と連携）を利用した場合、高校卒業時に美容師免許を取得することが可能です。

ワインディングをはじめ、現場で生きる知識と技能を学び、現場で活躍できる人材育成を目指します。

○ 生活教養系列

幅広い種類の選択科目から、生活を豊かにする学びを選ぶことができます。

調理・情報・健康スポーツ・ものづくりに関する授業などがあり、自ら考え、得た学びを活かし、自身の力で生活を豊かにできる人材育成を目指します。

※ 令和7年度入学生以前に設定していた服飾・福祉関係の科目は実施しません。

(2) 個に応じた学び（基礎学力・日本語指導）に向けた取組

3年次の就職試験等に対応できるよう、基礎学力の定着に力を入れています。必修科目の国語・数学・英語は、習熟度別や少人数講座できめ細かな指導を行い、わかりやすい授業を展開しています。また、日本語指導を必要とする生徒は、選択科目や一部の教科で日本語教師の資格を持つ社会人講師の指導により、社会生活に必要な表現・文化の学習や日本語能力試験に取り組んでいます。

(3) 地域に学ぶ

「主体的に考えて行動し、自分の道を自分で切り開き、社会に貢献することができる生徒の育成」を目標に、総合学科の特色ある2つの系列で、「地域に学び、地域と共に、地域のためにできること」を、地元伊賀市と連携して実施しています。

フィールドワークやインターンシップ等の機会を通じ、生徒が地域を知り、魅力を感じ、そして魅力を発信する活動を通して、自分に自信をもち、これからの伊賀地域を牽引する人へと成長することを期待しています。

(4) ICTの活用の推進

令和3年度入学生から、入学時に全員がiPadを購入し、ICT活用能力の育成や学びに向かう力の育成等に取り組んでいます。学ぶ喜びや達成感を実感できる授業を展開しています。

令和8年度 名張高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 校訓である「自律」、「協調」、「創造」の精神を生かし、地域とともに新時代の社会で活躍できる人材を輩出する学校

2 学校の特色（総合学科5学級）

(1) 概要

- ・総合学科（4系列9専攻）・創立110年（総合学科25年目）・地域に開かれた学校
- ・盛んな部活動・生徒指導（あいさつ、聞く姿勢の重視）・SDGsを意識した取組
- ・VUCAの時代に対応する資質能力の育成のための地域連携

(2) 系列・専攻の概要 ○系列 ★専攻

○ 文理アドバンス系列

★ 人文専攻……大学進学をめざす

- ・文系大学等への進学を実現できる、確かな学力を身につけます。
- ・地域と協働し、社会の課題に取り組むことで学んだことを生かします。

★ 看護・医療専攻……医療系への進学をめざす

- ・看護・医療系大学・専門学校等への進学を実現できる力を身につけます。
- ・名張市立病院と名張市立看護専門学校の講師から直接学ぶことで意識が向上します。

○ 総合ビジネス系列

★ ビジネス専攻……企業の即戦力をめざす

- ・情報やビジネスの基礎を学び、地域や企業で活躍できる力を身につけます。
- ・名張の観光資源を題材に、地域の活性化を考えます。

★ 情報処理専攻……情報のスペシャリストをめざす

- ・情報処理や情報の活用について学び、情報化社会に対応できる力を身につけます。
- ・名張の観光資源について調査分析を行い、観光推進案を提案します。

○ 健康スポーツ系列

★ 健康スポーツ専攻……健康増進のリーダーをめざす

- ・「心」・「技」・「体」を鍛え、自立心や向上心、協調性を身につけます。
- ・健康体操教室を企画運営することで、健康スポーツ分野のマネジメントを学びます。

○ 表現デザイン系列

★ 美術専攻……日常を美で彩る

- ・造形表現の基礎となるデザイン、絵画を中心に学び、専門的な力を身につけます。
- ・校外での制作展を企画運営することで、表現の可能性を追求します。

★ 音楽専攻……音で心を豊かにする

- ・音楽知識を学ぶとともに演奏技術と自己表現力を身につけます。
- ・校内外でのコンサートの演出、会場準備など、あらゆる行程を自分たちで行います。

★ ファッション専攻……イメージをデザインする

- ・自分の表現したいものをデザインし、形にしていく技術を身につけます。
- ・製作した作品をより効果的に表現するため、校外でファッションショーを行います。

★ 映像専攻……魅せる動画を創る

- ・依頼者のニーズを的確に把握し、動画としてまとめていく企画力を身につけます。
- ・地域の商業写真家や写真映像系専門学校の講師から技術を直接学びます。

令和8年度 名張高校（定時制）の特色

1 めざす学校像

- 校訓である「自律」、「協調」、「創造」の精神を生かし、地域とともに新時代の社会で活躍できる人材を輩出する学校

【育みたい生徒像】

- ・ 挨拶や身だしなみなど基本的生活習慣と社会で必要となる基礎学力のある生徒
- ・ 豊かな心と広い視野を持ち、自ら考え判断し主体的に行動できる生徒
- ・ 自他の人権と生命を尊重し、社会規範やマナーに合わせて行動できる生徒

2 学校の特色（普通科1学級）

(1) 教育理念

- 学習・生活の基礎基本を確立し、個の「自律」と社会的な「自立」能力を育成する。

◇ 具体的な取組内容

- ・ 丁寧でわかりやすい授業による基礎学力の定着
- ・ トリプルAの取組（あんしん・あいさつ・あきらめない姿勢）
- ・ 多様な生徒に対する多様な支援、サポート

(2) 名張定時制の3年戦略 ～「自律」と「自立」に向かって(R6～R8)～

- 令和6年度 「社会参画で自立へ」

社会とのつながりを意識し、就労や協働による社会性の構築を目標に、系統的な進路指導を行うとともに、自らの適性を理解し、一人ひとりが自分らしく自立することに必要な力の育成に取り組みました。

- 令和7年度 「自律と自立のスキルアップ」

外部機関との連携を強めながら、それぞれの多様な個性を生かし、生徒自身が学校行事や人権LHR等に主体的に参加することで、社会で生きるために必要なコミュニケーション能力を向上させることに取り組みました。

- 令和8年度 「安心・安全の進路保障」

生徒の進路希望状況を定期的に把握し、様々な就労スタイルでの安定したライフプラン設計ができることをシミュレーションさせる等、生徒個々の目標から逆算して現時点で身につけるべき内容を、外部機関と連携を深めながら指導しています。

(3) 郷土の文化に触れる体験的・協働的な学び

1年次・・・陶芸

2年次・・・竹あかり

3年次・・・ガラス工芸

4年次・・・組みひも

総合的な探究の時間として、上記の分野について地元で活動している方々を講師としてお招きし、郷土の文化に触れるとともに、創作活動をとおして地域の方と関わりながら地元の良さや人とのつながりの大切さを学んでいます。

令和8年度 名張青峰高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 新時代をたくましく生き抜く未来人を育てる学校

2 学校の特色（普通科4学級＋普通科【文理探究コース】1学級）

(1) 進路実現のための充実した進路指導

進路説明会をはじめ、生徒との個人面談や三者面談等を丁寧に行うなど、生徒一人ひとりに寄り添った進路指導を展開することで、それぞれの夢の実現をめざしています。

(2) 県内最先端のICT機器を活用した最新の学び

Google For Education 事例校や文科省「DXハイスクール」の指定を受け、生成AIや3Dプリンター等を活用した学習活動を展開しています。

(3) 世界とつながるグローバル教育

オーストラリア姉妹校への短期留学やオンライン交流、アメリカからの短期留学生受け入れ等を行うことで、語学力の向上だけでなく、異文化理解やグローバルな視野を身につけています。

(4) 充実した学校行事と部活動

生徒会の生徒等が中心となって行う学校行事（体育祭や文化祭等）でクラス等の団結力を高めています。また、12の運動部と12の文化部があり、生徒は文武両道をめざして部活動にも熱心に取り組んでいます。

3 学科の特徴

本校は単位制普通科の学校で、国公立大学・難関私立大学から短期大学・専門学校、就職まで幅広い進路希望を実現するため、文理探究コースと未来創造コースの2コースを設置しています。

<普通科・文理探究コース>

- 主に国公立大学や難関私立大学を希望する生徒のニーズに対応したコースで、ハイレベルな授業を行います。
- ・ コース専用の教育課程を設置するとともに、ハイレベルなセミナー等により、自分が希望する難関大学等への進学をめざします。
- ・ 2年次からは文系と理系に分かれ、専用の科目群から自分の受験に必要な科目を選択し、より高い学びを実現します。
- ・ 三重大と連携した「文理探究イノベーションプログラム」により、メタバース（仮想空間）を活用して大学生とともに地域創生について考える学習活動等を進めています。

<普通科（未来創造コース）>

- 大学進学から就職まで幅広い生徒のニーズに対応したコースで、普通科の学習を進めながらそれぞれの進路を決定・実現するコースです。
- ・ 多様な進路希望に対応した選択科目群から、自分の進路に応じた科目を選択し、進路実現に向けて学習します。
- ・ 充実したキャリア教育により、自己の進路目標を立て、計画的に学習や活動を行うなどのキャリア形成に必要な力を身につけます。
- ・ 未来創造コースの生徒のみが選択できる科目もあり、情報や芸術科目のスキル向上や英語検定などの資格取得をめざす生徒のニーズにも応えることができます。

伊賀地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況（令和8年度）

高校名	学科・コース名	R8 入学定員	R7.12 希望者数	前期選抜等			後期選抜				再募集			合格者 総数	入学者数	欠員
				募集人数	志願者数	合格 内定者数	募集人数	志願者数 (最終)	志願倍率	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数			
上野	学際探究	160	185	48	189	48	112	119	1.06	112				160	160	
	理数	80	74	40	78	40	40	47	1.18	40				80	80	
	計	240	259	88	267	88	152	166	1.09	152				240	240	0
あけぼの学園	総合学科	40	31	20 2	33 0	22	18	16	0.89	16	2	0	0	38	37	3
伊賀白鳳	機械	35	25	18	25	18										
	電子機械	35	26	18	26	19	48	37	0.77	37	11	7	8	102	103	2
	建築デザイン	35	35	18	36	20										
	生物資源	35	33	18	35	20	30	34	1.13	30				70	70	
	フードシステム	35	42	18	42	20										
	経営	30	23	15	23	15	15	7	0.47	8	7	1	1	24	24	6
名張	ヒューマンサービス	35	23	18	24	20	15	12	0.80	13	2	3	2	35	35	
	計	240	207	123	211	132	108	90	0.83	88	20	11	11	231	232	8
	総合学科	200	201	100	210	108	92	113	1.23	92				200	200	0
名張青峰	普通	160	171	48	169	53	107	99	0.93	100	7	4	4	157	157	3
	文理探究コース	40	21	20	21	20	20	22	1.10	20				40	40	
	計	200	192	68	190	73	127	121	0.95	120	7	4	4	197	197	3
伊賀地域計		920	890	401	911	423	497	506	1.02	468	29	15	15	906	906	14

※「R7.12希望者数」は、県内の国公立中学校3年生を対象に実施された進路希望状況調査による。

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは追検査による合格者等を含むため

※あけぼの学園の上段は前期選抜、下段は特別選抜

伊賀地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況（令和7年度）

高校名	学科・コース名	R7 入学定員	R6.12 希望者数	前期選抜等			後期選抜			再募集			入学者数	欠員
				募集人数	志願者数	合格 内定者数	募集人数	志願者数 (最終)	志願倍率	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数	
上野	学際探究	160	210	48	198	48	112	117	1.04	112			160	
	理数	80	73	40	72	40	40	47	1.18	40			80	
	計	240	283	88	270	88	152	164	1.08	152			240	
あけぼの学園	総合学科	80	65	40	65	45	35	27	0.77	27	8	3	75	6
	機械	35	35	18	35	20								
	電子機械	35	13	18	14	14								
伊賀白鳳	建築デザイン	35	38	18	39	20								
	生物資源	35	24	18	22	20	110	98	0.89	96	14	10	235	5
	フードシステム	35	42	18	43	20								
	経営	30	22	15	22	16								
	ヒューマンサービス	35	30	18	30	20								
	計	240	204	123	205	130	110	98	0.89	96	14	10	235	
	総合学科	200	214	100	216	108	92	100	1.09	92			200	
名張青峰	普通	200	194	60	193	66	134	131	0.98	134			200	
	文理探究コース	40	36	20	36	22	18	36	2.00	18			40	
	計	240	230	80	229	88	152	167	1.10	152			240	
伊賀地域計		1,000	996	433	986	459	541	556	1.03	519	22	13	990	11

※「R6.12希望者数」は、県内の国公立中学校3年生を対象に実施された進路希望状況調査による。

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは追検査による合格者等を含むため

※あけぼの学園の上段は前期選抜、下段は特別選抜

各高等学校の入学者の出身中学校

【令和8年4月入学】

【令和5年度入学】

			上野	あけぼの 学園	伊賀白鳳	名張	名張青峰	
設置学科等 (R8募集定員)			学際探究 (160) 理数 (80)	総合 (40)	工業 (105) 農業 (70) 商業 (30) 福祉 (35)	総合 (200)	普通 (160) 文理探究 (40)	
R8.4 入学生の 出身中学校	伊賀北部 の中学校	人	136	17	161	44	65	
		%	56.7%	45.9%	69.4%	22.0%	33.0%	
	伊賀南部 の中学校	人	92	7	47	144	127	
		%	38.3%	18.9%	20.3%	72.0%	64.5%	
	上記以外の 県内中学校	人	1	12	21	3	0	
		%	0.4%	32.4%	9.1%	1.5%	0.0%	
	県外の中学校 (奈良県等)	人	11	1	3	9	5	
		%	4.6%	2.7%	1.3%	4.5%	2.5%	
	入学者数計		人	240	37	232	200	197

【令和7年4月入学】

			上野	あけぼの 学園	伊賀白鳳	名張	名張青峰	
設置学科等 (R7募集定員)			学際探究 (160) 理数 (80)	総合 (80)	工業 (105) 農業 (70) 商業 (30) 福祉 (35)	総合 (200)	普通 (200) 文理探究 (40)	
R7.4 入学生の 出身中学校	伊賀北部 の中学校	人	160	28	175	54	80	
		%	66.7%	37.8%	74.5%	27.0%	33.2%	
	伊賀南部 の中学校	人	72	24	47	130	151	
		%	30.0%	32.4%	20.0%	65.0%	62.7%	
	上記以外の 県内中学校	人	4	21	11	5	8	
		%	1.7%	28.4%	4.7%	2.5%	3.3%	
	県外の中学校 (奈良県等)	人	4	1	2	11	2	
		%	1.7%	1.4%	0.9%	5.5%	0.8%	
	入学者数計		人	240	74	235	200	241

※ 「伊賀北部の中学校」は伊賀市の中学校から青山中学校を除き、「伊賀南部の中学校」は名張市の中学校に青山中学校を加える。

※ 「%」は、各高校の「入学者数計」に対する割合を表す。

伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況（5力年比較）

区分			進路先	令和4年3月卒		令和5年3月卒		令和6年3月卒		令和7年3月卒		令和8年3月卒	
				人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
全日制	県内県立	伊賀地域	上野	269	19.3	238	17.5	234	17.3	232	16.9	228	17.4
			伊賀白鳳	230	16.5	230	16.9	230	17.0	222	16.2	208	15.9
			あけぼの学園	68	4.9	61	4.5	66	4.9	52	3.8	24	1.8
			名張	189	13.6	169	12.4	184	13.6	184	13.4	188	14.4
			名張青峰	226	16.2	224	16.4	217	16.1	231	16.8	192	14.7
			小計	982	70.5	922	67.7	931	69.0	921	67.1	840	64.2
		他地域	津	28	2.0	37	2.7	35	2.6	39	2.8	39	3.0
			津西	26	1.9	26	1.9	28	2.1	24	1.7	23	1.8
			上記以外 ※1	50	3.6	52	3.8	48	3.6	70	5.1	56	4.3
			小計	104	7.5	115	8.4	111	8.2	133	9.7	118	9.0
		県内私立	鈴鹿	5	0.4	11	0.8	11	0.8	7	0.5	11	0.8
			高田	8	0.6	11	0.8	11	0.8	19	1.4	22	1.7
	三重		18	1.3	16	1.2	11	0.8	8	0.6	11	0.8	
	桜丘		10	0.7	1	0.1	3	0.2	4	0.3	2	0.2	
	上記以外 ※2		7	0.5	7	0.5	11	0.8	13	0.9	19	1.5	
	小計		48	3.4	46	3.4	47	3.5	51	3.7	65	5.0	
	県外		国公立	8	0.6	6	0.4	8	0.6	5	0.4	10	0.8
		私立	59	4.2	54	4.0	58	4.3	46	3.4	49	3.7	
		小計	67	4.8	60	4.4	66	4.9	51	3.7	59	4.5	
	定時制	上野	13	0.9	8	0.6	13	1.0	8	0.6	3	0.2	
		名張	13	0.9	12	0.9	10	0.7	11	0.8	6	0.5	
		上記以外の県内	0	0.0	0	0.0	1	0.1	0	0.0	1	0.1	
		山辺高校山添分校	3	0.2	8	0.6	7	0.5	8	0.6			
		上記以外の県外	2	0.1	0	0.0	0	0.0	1	0.1	1	0.1	
		小計	31	2.2	28	2.1	31	2.3	28	2.0	11	0.8	
	通信制	県立（北星・松阪）	3	0.2	3	0.2	3	0.2	1	0.1	1	0.1	
		英心桔梗が丘校	24	1.7	57	4.2	44	3.3	53	3.9	77	5.9	
英心伊勢本校		11	0.8	6	0.4	12	0.9	5	0.4	9	0.7		
徳風		5	0.4	2	0.1	3	0.2	2	0.1	7	0.5		
上記以外の県内		2	0.1	1	0.1	2	0.1	2	0.1	3	0.2		
県外		27	1.9	29	2.1	38	2.8	44	3.2	27	2.1		
小計		72	5.2	98	7.2	102	7.6	107	7.8	124	9.5		
高等専門学校	鈴鹿高専	9	0.6	3	0.2	1	0.1	2	0.1	9	0.7		
	鳥羽商船	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1		
	近大高専	57	4.1	53	3.9	31	2.3	47	3.4	55	4.2		
	県外	2	0.1	5	0.4	2	0.1	4	0.3	1	0.1		
	小計	68	4.9	61	4.5	34	2.5	53	3.9	66	5.0		
特別支援学校	伊賀つばさ学園	4	0.3	9	0.7	7	0.5	17	1.2	8	0.6		
	上記以外の県内	1	0.1	1	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	県外	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	小計	5	0.4	10	0.7	7	0.5	17	1.2	8	0.6		
その他	専修・各種・職訓	1	0.1	3	0.2	2	0.1	1	0.1	4	0.3		
	就職	2	0.1	6	0.4	3	0.2	2	0.1	1	0.1		
	上記以外 ※3	13	0.9	13	1.0	16	1.2	8	0.6	13	1.0		
	小計	16	1.1	22	1.6	21	1.6	11	0.8	18	1.4		
公立中学校卒業生数			1,393	100.0	1,362	100.0	1,350	100.0	1,372	100.0	1,309	100.0	

令和8年3月卒業生

※1 亀山11、津工業10、津東4、津商業4、飯野4、四日市中央工業3、昂学園3、白子2、白山2、水産2、いなべ総合1、四日市1、四日市工業1、菰野1、稲生1、久居1、松阪1、松阪工業1、松阪商業1、伊勢1、伊勢工業1 の計56人

※2 皇學館9、海星6、セントヨゼフ4 の計19人

※3 進学待機、求職中など

伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況(北部・南部)【令和8年3月卒】

区分	進路先	伊賀北部		伊賀南部		伊賀地域合計	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
伊賀地域 県立 全日制	上野	136	22.3	92	13.1	228	17.4
	伊賀白鳳	161	26.4	47	6.7	208	15.9
	あけぼの学園	17	2.8	7	1.0	24	1.8
	名張	44	7.2	144	20.6	188	14.4
	名張青峰	65	10.7	127	18.1	192	14.7
	小計	423	69.5	417	59.6	840	64.2
他地域 県立 全日制	津	15	2.5	24	3.4	39	3.0
	津西	9	1.5	14	2.0	23	1.8
	上記以外	25	4.1	31	4.4	56	4.3
	小計	49	8.0	69	9.9	118	9.0
県内 私立 全日制	鈴鹿	10	1.6	1	0.1	11	0.8
	高田	16	2.6	6	0.9	22	1.7
	三重	0	0.0	11	1.6	11	0.8
	桜丘	0	0.0	2	0.3	2	0.2
	上記以外	12	2.0	7	1.0	19	1.5
	小計	38	6.2	27	3.9	65	5.0
県外 全日制	国公立	5	0.8	5	0.7	10	0.8
	私立	21	3.4	28	4.0	49	3.7
	小計	26	4.3	33	4.7	59	4.5
定時制	上野	3	0.5	0	0.0	3	0.2
	名張	0	0.0	6	0.9	6	0.5
	上記以外の県内	1	0.2	0	0.0	1	0.1
	山辺高校山添分校						
	上記以外の県外	0	0.0	1	0.1	1	0.1
	小計	4	0.7	7	1.0	11	0.8
通信制	県立(北星・松阪)	0	0.0	1	0.1	1	0.1
	英心桔梗が丘校	21	3.4	56	8.0	77	5.9
	英心伊勢本校	0	0.0	9	1.3	9	0.7
	徳風	4	0.7	3	0.4	7	0.5
	上記以外の県内	1	0.2	2	0.3	3	0.2
	県外	9	1.5	18	2.6	27	2.1
	小計	35	5.7	89	12.7	124	9.5
高等専門 学校	鈴鹿高専	3	0.5	6	0.9	9	0.7
	鳥羽商船	0	0.0	1	0.1	1	0.1
	近大高専	19	3.1	36	5.1	55	4.2
	県外	0	0.0	1	0.1	1	0.1
	小計	22	3.6	44	6.3	66	5.0
特別支援 学校	伊賀つばさ学園	6	1.0	2	0.3	8	0.6
	上記以外の県内	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	県外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	6	1.0	2	0.3	8	0.6
その他	専修・各種・職訓	1	0.2	3	0.4	4	0.3
	就職	1	0.2	0	0.0	1	0.1
	上記以外	4	0.7	9	1.3	13	1.0
	小計	6	1.0	12	1.7	18	1.4
公立中学校卒業者数		609	100.0	700	100.0	1,309	100.0

※ 伊賀北部＝伊賀市から旧青山町を除く。

※ 伊賀南部＝名張市に旧青山町を加える。

伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況(北部・南部)【令和7年3月卒】

区分	進路先	伊賀北部		伊賀南部		伊賀地域合計	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
伊賀地域 県立 全日制	上野	147	24.0	85	11.2	232	16.9
	伊賀白鳳	170	27.8	52	6.8	222	16.2
	あけぼの学園	26	4.2	26	3.4	52	3.8
	名張	37	6.0	147	19.3	184	13.4
	名張青峰	69	11.3	162	21.3	231	16.8
	小計	449	73.4	472	62.1	921	67.1
他地域 県立 全日制	津	6	1.0	33	4.3	39	2.8
	津西	3	0.5	21	2.8	24	1.7
	上記以外	21	3.4	49	6.4	70	5.1
	小計	30	4.9	103	13.6	133	9.7
県内 私立 全日制	鈴鹿	7	1.1	0	0.0	7	0.5
	高田	15	2.5	4	0.5	19	1.4
	三重	1	0.2	7	0.9	8	0.6
	桜丘	2	0.3	2	0.3	4	0.3
	上記以外	7	1.1	6	0.8	13	0.9
	小計	32	5.2	19	2.5	51	3.7
県外 全日制	国公立	4	0.7	1	0.1	5	0.4
	私立	15	2.5	31	4.1	46	3.4
	小計	19	3.1	32	4.2	51	3.7
定時制	上野	8	1.3	0	0.0	8	0.6
	名張	1	0.2	10	1.3	11	0.8
	上記以外の県内	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	山辺高校山添分校	3	0.5	5	0.7	8	0.6
	上記以外の県外	0	0.0	1	0.1	1	0.1
	小計	12	2.0	16	2.1	28	2.0
通信制	県立(北星・松阪)	0	0.0	1	0.1	1	0.1
	英心桔梗が丘校	23	3.8	30	3.9	53	3.9
	英心伊勢本校	0	0.0	5	0.7	5	0.4
	徳風	2	0.3	0	0.0	2	0.1
	上記以外の県内	0	0.0	2	0.3	2	0.1
	県外	15	2.5	29	3.8	44	3.2
	小計	40	6.5	67	8.8	107	7.8
高等専門 学校	鈴鹿高専	2	0.3	0	0.0	2	0.1
	鳥羽商船	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	近大高専	11	1.8	36	4.7	47	3.4
	県外	0	0.0	4	0.5	4	0.3
	小計	13	2.1	40	5.3	53	3.9
特別支援 学校	伊賀つばさ学園	8	1.3	9	1.2	17	1.2
	上記以外の県内	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	県外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	8	1.3	9	1.2	17	1.2
その他	専修・各種・職訓	1	0.2	0	0.0	1	0.1
	就職	2	0.3	0	0.0	2	0.1
	上記以外	6	1.0	2	0.3	8	0.6
	小計	9	1.5	2	0.3	11	0.8
公立中学校卒業者数		612	100.0	760	100.0	1,372	100.0

※ 伊賀北部＝伊賀市から旧青山町を除く。

※ 伊賀南部＝名張市に旧青山町を加える。

資料 8

伊賀地域の県立高等学校（全日制）卒業生の進路状況

【令和8年3月卒】

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業者数
上野	普通科 理数科	205	8	12	2	12	239
		85.8%	3.3%	5.0%	0.8%	5.0%	100.0%
あけぼの学園	総合学科	3	6	6	35	8	58
		5.2%	10.3%	10.3%	60.3%	13.8%	100.0%
伊賀白鳳	機械科、電子機械科、 建築デザイン科、生物資源科、 フードシステム科、経営科、 ヒューマンサービス科	34	7	47	126	4	218
		15.6%	3.2%	21.6%	57.8%	1.8%	100.0%
名張	総合学科	47	12	76	35	6	176
		26.7%	6.8%	43.2%	19.9%	3.4%	100.0%
名張青峰	普通科 普通科（文理探究コース）	174	6	41	5	11	237
		73.4%	2.5%	17.3%	2.1%	4.6%	100.0%

普通科計 （普通科系専門学科を含む）	379	14	53	7	23	476
	79.6%	2.9%	11.1%	1.5%	4.8%	100.0%
専門学科計	34	7	47	126	4	218
	15.6%	3.2%	21.6%	57.8%	1.8%	100.0%
総合学科計	50	18	82	70	14	234
	31.9%	7.7%	35.0%	29.9%	6.0%	100.0%
合計	463	39	182	203	41	928
	49.9%	4.2%	19.6%	21.9%	4.4%	100.0%

【令和7年3月卒】

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業者数
上野	普通科 理数科	255	2	9	0	11	277
		92.1%	0.7%	3.2%	0.0%	4.0%	100.0%
あけぼの学園	総合学科	3	0	10	44	8	65
		4.6%	0.0%	15.4%	67.7%	12.3%	100.0%
伊賀白鳳	機械科、電子機械科、 建築デザイン科、生物資源科、 フードシステム科、経営科、 ヒューマンサービス科	35	16	55	117	0	223
		15.7%	7.2%	24.7%	52.5%	0.0%	100.0%
名張	総合学科	55	11	77	42	8	193
		28.5%	5.7%	39.9%	21.8%	4.1%	100.0%
名張青峰	普通科 普通科（文理探究コース）	168	4	38	7	12	229
		73.4%	1.7%	16.6%	3.1%	5.2%	100.0%

普通科計 （普通科系専門学科を含む）	423	6	47	7	23	506
	83.6%	1.2%	9.3%	1.4%	4.5%	100.0%
専門学科計	35	16	55	117	0	223
	15.7%	7.2%	24.7%	52.5%	0.0%	100.0%
総合学科計	58	11	87	86	16	258
	33.1%	4.3%	33.7%	33.3%	6.2%	100.0%
合計	516	33	189	210	39	987
	52.3%	3.3%	19.1%	21.3%	4.0%	100.0%

※上段は人数、下段は卒業者数に対する割合を表す

※「四年制大学」は大学校を含む

※「短大」は高専を含む

※「その他」は進学待機を含む

令和7年度まとめに基づく検討状況

- 専門性の高い学びを含む多様な学びの選択肢をできる限り維持しながら、専門学科や総合学科の系列における共通した学びの集約を図る。県内で唯一の「美容の学び」についても当地域の総合学科において維持させる。

<「美容の学び」は当地域の総合学科において維持>

- 名張高校における令和10年度入学生からの「美容の学び」のあり方について検討を開始

① 総合学科の系列における選択科目のあり方

(あけぼの学園高校)

科目名	単位数	履修年次
ビューティーベーシック	4	2
ビューティーアドバンス	4	2
ビューティープロフェッショナル	4	3
ビューティースキルアップ	2	3

② ダブルスクールのあり方

(あけぼの学園高校)

- ・ 美容専門学校との連携：通信制課程における実習時間の軽減
- ・ 美容室「あけぼのHair」(課外活動)における活動

③ 施設・設備のあり方

- 定時制のあり方や入試制度を含め、学びのセーフティネット機能の充実を図り、不登校を経験した生徒、外国につながる生徒、特別な支援が必要な生徒など、多様な子どもたちがどの学校においても安心して学べる教育環境を整える。日本語の指導や「学び直しの機能」の充実については定時制を中心に進め、通級による指導については全日制への導入をめざす。

<日本語の指導や「学び直しの機能」の充実については、定時制を中心に進める>

- 上野高校定時制における日本語検定や進学・就職対策などの始業前補習のあり方について検討を開始

<通級による指導については全日制への導入をめざす>

- 伊賀白鳳高校において、令和9年度入学生から通級による指導を導入

令和8年度の協議について

- 1 これまでの協議 ※詳細は「令和7年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会のまとめ」を参照
- 令和6年度は、「令和5年度のまとめ」に基づいて、15年先を見据えながら、令和10年度以降の総学級数の段階的な減少に対する具体的な対応の方向性について協議を進めました。また、地域の中学生・保護者を対象としたアンケート調査を実施し、その結果もふまえて検討を行い、これまでの協議を「令和7年度まとめに向けた方向性」として整理しました。
 - 令和7年度の協議会では、「令和5年度のまとめ」や、地域の中学生・保護者へのアンケート結果などをふまえ、15年先の伊賀地域の県立高校の学びと配置のあり方を見据えながら、令和10年度に想定される当地域の県立高校の学級減への具体的な対応の方向性をとりまとめました。

2 令和8年度の協議の進め方

令和8年度の協議については、「令和7年度のまとめ」に示されているとおり、「1学年あたり10～12学級となることが想定される15年先（令和22年度）の学びと配置のイメージ」の実現に向けた協議を進めます。

また、現計画の計画期間が令和4年度から8年度までとなっていることから、三重県教育委員会の附属機関である三重県教育改革推進会議において、次期計画の策定に向けた審議が始まっており、令和8年3月に「県立高等学校の学び並びに配置及び規模の在り方について」の答申がありました。

こうした動きも注視しながら、当地域の子どもたちにとって魅力ある高等学校の学びのあり方とそれを具現化する新築・建替えの議論を含めた配置や規模のあり方について、令和9年度を目途に当協議会において考え方をとりまとめることとします。

3 今後の協議会開催スケジュール（令和8年度）

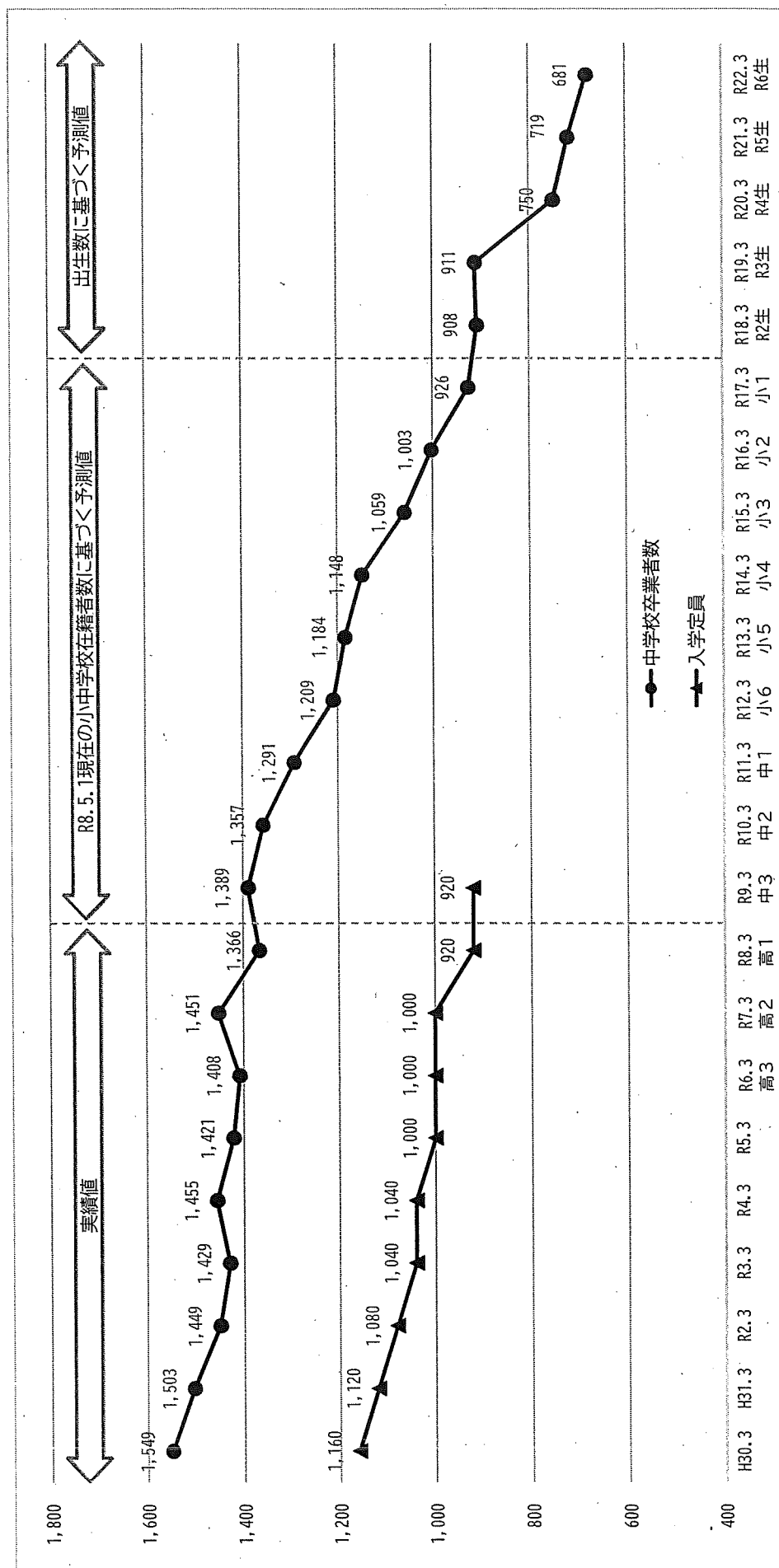
(1) 第1回協議会（令和8年8月3日）

- ・伊賀地域の高等学校を取り巻く状況について
- ・令和7年度まとめ「15年先の学びと配置のイメージ」の実現に向けて①

(2) 第2回協議会（令和8年12～令和9年1月頃）

- ・令和7年度まとめ「15年先の学びと配置のイメージ」の実現に向けて②

伊賀地域の中学校卒業生数と県立高等学校入学定員（全日制）の推移



【伊賀地域の出生数】

	H29年度生 現小3	H30年度生 現小2	R元年度生 現小1	R2年度生 5～6歳	R3年度生 4～5歳	R4年度生 3～4歳	R5年度生 2～3歳	R6年度生 1～2歳	R7年度生 0～1歳
伊賀市	582	569	533	534	527	434	419	391	
名張市	522	509	462	427	437	359	342	329	
合計	1,104	1,078	995	961	964	793	761	720	

※ 出生数に基づく予測値（R2～R6年度生まれ）は、昨年度時点のデータに基づいて作成しています。

伊賀地域の中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）【市別】

令和8年5月1日 教育政策課調べ

中学校卒業年月	R 5.3 卒業	R 6.3 卒業	R 7.3 卒業	R 8.3 卒業	R 9.3 現中3	R 10.3 現中2	R 11.3 現中1	R 12.3 現小6	R 13.3 現小5	R 14.3 現小4	R 15.3 現小3	R 16.3 現小2	R 17.3 現小1
伊賀市													
卒業生数	779	768	771	723	746	714	672	627	618	575	547	515	484
前年度対比		-11	3	-48	23	-32	-42	-45	-9	-43	-28	-32	-31
R8.3対比					23	-9	-51	-96	-105	-148	-176	-208	-239
①公立小中在籍者数	(720)	(710)	(692)	(666)	686	655	630	630	620	576	547	516	485
②私立小中在籍者数	(59)	(58)	(79)	(57)	50	49	29						
名張市													
卒業生数	642	640	680	643	643	643	619	582	566	573	512	488	442
前年度対比		-2	40	-37	0	0	-24	-37	-16	7	-61	-24	-46
R8.3対比					0	0	-24	-61	-77	-70	-131	-155	-201
③公立小中在籍者数					640	641	616	610	591	602	535	511	462
伊賀地域計													
卒業生数	1,421	1,408	1,451	1,366	1,389	1,357	1,291	1,209	1,184	1,148	1,059	1,003	926
前年度対比		-13	43	-85	23	-32	-66	-82	-25	-36	-89	-56	-77
R8.3対比					23	-9	-75	-157	-182	-218	-307	-363	-440
①②③小中在籍者数					1,376	1,345	1,275	1,240	1,211	1,178	1,082	1,027	947

伊賀地域県立高校の1学年学級数	27	26	26	24	24								
() 内は入学定員の計	(1,040)	(1,000)	(1,000)	(920)	(920)								

(参考)

	R 5.3 卒業	R 6.3 卒業	R 7.3 卒業	R 8.3 卒業	R 9.3 現中3	R 10.3 現中2	R 11.3 現中1	R 12.3 現小6	R 13.3 現小5	R 14.3 現小4	R 15.3 現小3	R 16.3 現小2	R 17.3 現小1
県内													
卒業生数	16,055	15,891	15,718	15,511	15,303	14,834	14,377	14,011	14,032	13,398	12,753	12,420	11,764
前年度対比		-164	-173	-207	-208	-469	-457	-366	21	-634	-645	-333	-656
R8.3対比					-208	-677	-1,134	-1,500	-1,479	-2,113	-2,758	-3,091	-3,747
小中在籍者数					15,443	14,982	14,558	14,239	14,261	13,619	12,965	12,647	11,998

伊賀地域の中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）【北部・南部別】

令和8年5月1日 教育政策課調べ

中学校卒業年月		R 5.3 卒業	R 6.3 卒業	R 7.3 卒業	R 8.3 卒業	R 9.3 現中3	R 10.3 現中2	R 11.3 現中1	R 12.3 現小6	R 13.3 現小5	R 14.3 現小4	R 15.3 現小3	R 16.3 現小2	R 17.3 現小1
伊賀 北部	卒業生数	718	714	691	660	680	652	609	577	565	520	494	478	443
	前年度対比		-4	-23	-31	20	-28	-43	-32	-12	-45	-26	-16	-35
	R8.3対比					20	-8	-51	-83	-95	-140	-166	-182	-217
	①公立小中在籍者数	(659)	(656)	(612)	(603)	622	594	568	577	565	519	491	477	441
	②私立小中在籍者数	(59)	(58)	(79)	(57)	50	49	29						
伊賀 南部	卒業生数	703	694	760	706	709	704	682	632	619	628	565	526	483
	前年度対比		-9	66	-54	3	-5	-22	-50	-13	9	-63	-39	-43
	R8.3対比					3	-2	-24	-74	-87	-78	-141	-180	-223
	③公立小中在籍者数				706	707	702	678	663	646	659	591	550	506
		1,421	1,408	1,451	1,366	1,389	1,356	1,291	1,209	1,184	1,148	1,059	1,004	926
伊賀 地域 計	卒業生数		-13	43	-85	23	-33	-65	-82	-25	-36	-89	-55	-78
	前年度対比					23	-10	-75	-157	-182	-218	-307	-362	-440
	R8.3対比													
	①②③小中在籍者数					1,376	1,345	1,275	1,240	1,211	1,178	1,082	1,027	947
伊賀地域県立高校の1学年学級数		26	26	26	24	24								
() 内は入学定員の計		(1,000)	(1,000)	(1,000)	(920)	(920)								

※ 伊賀北部＝伊賀市から旧青山町を除く。

※ 伊賀南部＝名張市に旧青山町を加える。

(参考)

		R 5.3 卒業	R 6.3 卒業	R 7.3 卒業	R 8.3 卒業	R 9.3 現中3	R 10.3 現中2	R 11.3 現中1	R 12.3 現小6	R 13.3 現小5	R 14.3 現小4	R 15.3 現小3	R 16.3 現小2	R 17.3 現小1
県内 合計	卒業生数	16,055	15,891	15,718	15,511	15,303	14,834	14,377	14,011	14,032	13,398	12,753	12,420	11,764
	前年度対比		-164	-173	-207	-208	-469	-457	-366	21	-634	-645	-333	-656
	R8.3対比					-208	-677	-1,134	-1,500	-1,479	-2,113	-2,758	-3,091	-3,747
	小中在籍者数					15,443	14,982	14,558	14,239	14,261	13,619	12,965	12,647	11,998

伊賀地域の高等学校等の学科・コース・系列について（令和9年度）

	学校名	大学科	募集定員 (R9)	1			2			3			4			5			6		
				学際探究科			学際探究科			学際探究科			学際探究科			学際探究科			学際探究科		
伊賀地域全日制課程	県立 上野高校	普通科	240	機械科 (35) ・機械科			電子機械 (35) ・ロボット ・電気工学			建築デザイン科 (35) ・建築・インテリア ・デザイン			生物資源科 (35) ・生物資源科			フードシステム科 (35) ・フードサイエンス ・パティシエ			経営科 (30) ・経営科		
	県立 伊賀白鳳高校	専門 学科	240	美容系列 生活教養系列			情報、健康スポーツ、ものづくり、調理			健康スポーツ系列 ・健康スポーツ専攻 ・健康スポーツ専攻			表現デザイン系列 ・美術専攻 ・音楽専攻 ・ファッション専攻 ・映像専攻			全23学級 普通科11※ 専門学科6(7) (農業2) (工業3) (商業1) (福祉1) 総合学科6			ホームサービス科 (35) ・介護福祉 ・生活福祉		
	県立 あけぼの学園 高校	総合 学科	40	文理アドバンス系列 ・人文専攻 ・看護医療専攻			総合ビジネス系列 ・ビジネス専攻 ・情報処理専攻			健康スポーツ系列 ・健康スポーツ専攻 ・健康スポーツ専攻			表現デザイン系列 ・美術専攻 ・音楽専攻 ・ファッション専攻 ・映像専攻			全23学級 普通科11※ 専門学科6(7) (農業2) (工業3) (商業1) (福祉1) 総合学科6			ホームサービス科 (35) ・介護福祉 ・生活福祉		
	県立 名張高校	総合 学科	200	普通科			普通科			普通科			普通科			普通科			普通科		
	県立 名張青峰高校	普通科	200	普通科			普通科			普通科			普通科			普通科			普通科		
	私立 桜丘高校	普通科	155	普通科 (155)			普通科 (155)			普通科 (155)			普通科 (155)			普通科 (155)			普通科 (155)		

※大学の「普通科」には、普通系専門学科を含む

○全日制
※私立 愛農学園農業高校○定時制課程
県立 上野高校

県立 名張高校

○通信制課程
私立 英心高校桔梗が丘校

※私立 神村学園高等部伊賀

○高等専門学校
私立 近畿大学工業高等専門学校農業科
普通科
普通科
普通科：探究コース、集中スクーリングコース
普通科：選択登校型、全日型（両型合わせた年間募集定員）
機械システム、電気電子、制御情報、都市環境（3年次よりコース選択）

（※県外扱い）

【参考】津地域の高等学校別学科・コースについて（令和9年度）

学校名		大学科※	募集定員	1	2	3	4	5	6	7	8		
津地域全日制課程	県立	津	320	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科		
		津西	280	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	国際科学科	国際科学科	普通科		
		津商業	200	専門学科	ビジネス科 会計類型・経営情報類型	ビジネス科	ビジネス科	ビジネス科	情報システム科	ビジネス科	普通科		
		津東	240	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科		
		津工業	240	専門学科	機械科	機械科	機械科	電気科	電子科	建設工学科 建築コース 都市計画コース	建設工学科	普通科	
		久居	160	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	
		久居農林	200	専門学科	農業科学科	園芸科学科	環境デザイン科	生活デザイン科	生活デザイン科	生活デザイン科	生活デザイン科	普通科	
		白山	80	普通科 専門学科	情報コミュニケーション科 メディア類型 観光ビジネス類型	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
		高田	560	普通科	普通科（Ⅱ類特別選抜クラス、Ⅱ類進学クラス、Ⅰ類進学クラス、6年制）								
		セントヨゼフ女子学園	125	普通科	普通科（スーパーアドバンスコース、アドバンスコース）								
私立				685									
				全43学級 普通科※26 専門学科17 （工業6） （商業6） （農業3） （家庭2） 総合学科0									

※大学科の「普通科」には、普通科系専門学科を含む

- 全日制課程 私立 青山 170 人 普通科（特進コース、進学コース、アスリートコース） ※県外扱い
- 定時制課程 県立 みえ夢学園 120 人 総合学科（午前の部：40）、総合学科（午後の部：40）、総合学科（夜間部：40）
- 通信制課程 私立 一志学園 40 人 普通科（全日型コース、土曜コース、フレックスコース）

(1) 通学における主な路線図



R8. 5. 1 学校基本調査より

-27-

(3) 通学費用別生徒数と割合

R8. 5. 1 学校基本調査より

費用	学校名	上野	伊賀白鳳	あけぼの学園	名張	名張青峰	合計	積み上げ
不要		285	403	30	186	138	1,042	1,042
		40.0%	59.4%	16.9%	31.8%	21.1%	37.1%	37.1%
3,000円以内		48	35	1	59	37	180	1,222
		6.7%	5.2%	0.6%	10.1%	5.7%	6.4%	43.5%
5,000円以内		64	57	13	144	99	377	1,599
		9.0%	8.4%	7.3%	24.7%	15.1%	13.4%	57.0%
7,000円以内		89	40	14	68	98	309	1,908
		12.5%	5.9%	7.9%	11.6%	15.0%	11.0%	68.0%
9,000円以内		61	40	37	36	62	236	2,144
		8.6%	5.9%	20.9%	6.2%	9.5%	8.4%	76.4%
11,000円以内		47	58	22	46	97	270	2,414
		6.6%	8.6%	12.4%	7.9%	14.8%	9.6%	86.0%
13,000円以内		41	22	6	17	48	134	2,548
		5.8%	3.2%	3.4%	2.9%	7.3%	4.8%	90.8%
15,000円以内		24	12	38	14	41	129	2,677
		3.4%	1.8%	21.5%	2.4%	6.3%	4.6%	95.4%
15,001円以上		54	11	16	14	34	129	2,806
		7.6%	1.6%	9.0%	2.4%	5.2%	4.6%	100.0%
合計		713	678	177	584	654	2,806	2,806

※通学費用は1か月あたりの費用

(4) 通学時間別生徒数と割合

R8. 5. 1 学校基本調査より

時間	学校名	上野	伊賀白鳳	あけぼの学園	名張	名張青峰	合計	積み上げ
15分以内		158	164	22	121	101	566	566
		22.2%	24.2%	12.4%	20.7%	15.4%	20.2%	20.2%
30分以内		201	206	22	187	154	770	1,336
		28.2%	30.4%	12.4%	32.0%	23.5%	27.4%	47.6%
45分以内		129	103	44	146	139	561	1,897
		18.1%	15.2%	24.9%	25.0%	21.3%	20.0%	67.6%
60分以内		166	113	47	99	130	555	2,452
		23.3%	16.7%	26.6%	17.0%	19.9%	19.8%	87.4%
90分以内		50	56	33	29	100	268	2,720
		7.0%	8.3%	18.6%	5.0%	15.3%	9.6%	96.9%
120分以内		8	26	9	2	29	74	2,794
		1.1%	3.8%	5.1%	0.3%	4.4%	2.6%	99.6%
121分以上		1	10	0	0	1	12	2,806
		0.1%	1.5%	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	100.0%
合計		713	678	177	584	654	2,806	2,806

※通学時間は片道の所要時間

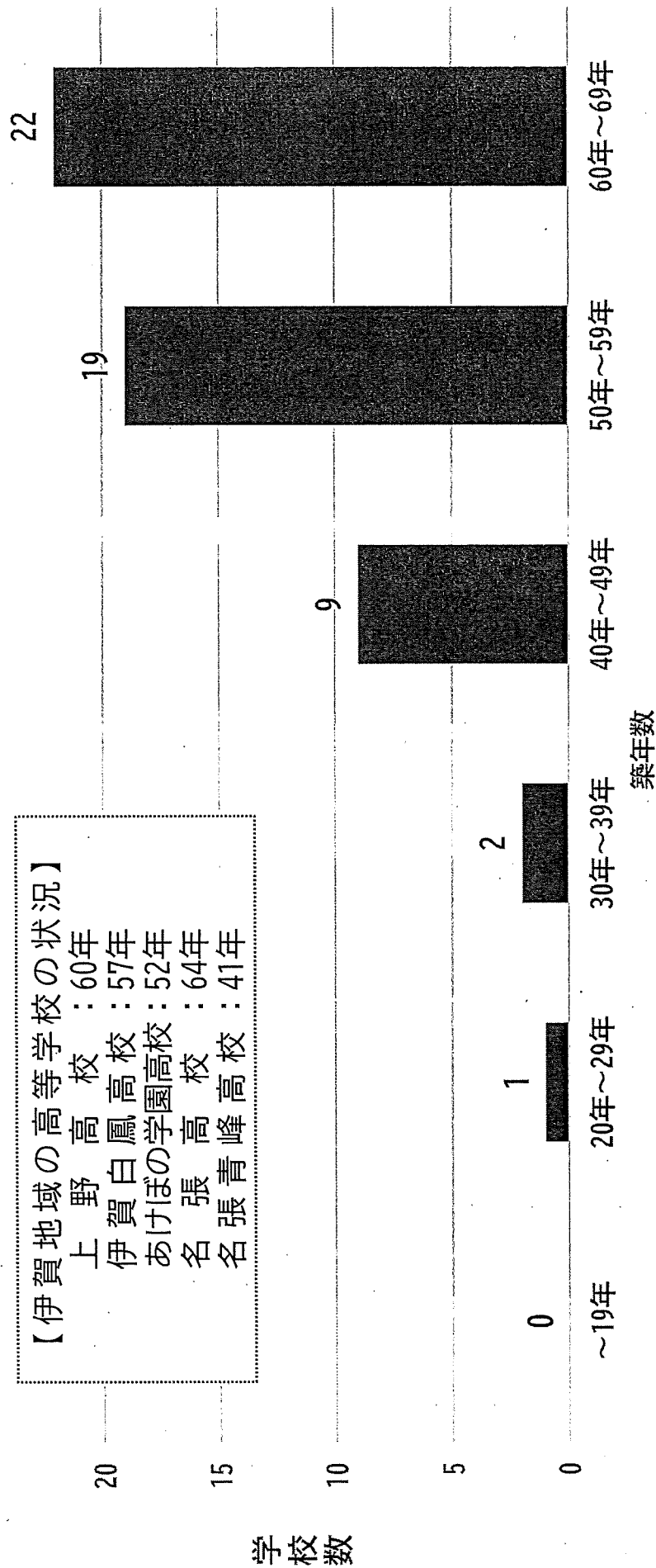
(5) 自宅外通学生徒数

R8. 5. 1 学校基本調査より

種別	学校名	上野	伊賀白鳳	あけぼの学園	名張	名張青峰	合計
下宿		1	1	0	16	3	21
寄宿舎		0	0	0	0	0	0
合計		1	1	0	16	3	21

学校施設の老朽化の状況

【伊賀地域の高等学校の状況】
上野高校：60年
伊賀白鳳高校：57年
あけぼの学園高校：52年
名張高校：64年
名張青峰高校：41年



【備考】

- ※1 各県立高等学校（全日制）の主たる校舎の築年数（令和8年3月31日時点）
- ※2 熊野青藍高等学校については、本本校舎と紀南校舎をそれぞれ1校として計算している。また、木本高等学校と紀南高等学校については、熊野青藍高等学校と同一の校舎であるため、学校数に含めていない。
- ※3 南伊勢高等学校南勢校舎については、令和8年3月31日をもって閉校したため、学校数に含めていない。

令和22年度までの伊賀地域の県立高等学校（全日制）の総学級数について

令和9年度(現中3) 地域の中学校卒業予定者数 1,389人 募集定員 920人	令和10年度(現中2) 地域の中学校卒業予定者数 1,357人	令和16年度(現小2) 地域の中学校卒業予定者数 1,003人	令和22年度 地域の中学校卒業予定者数 681人
---	---------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------

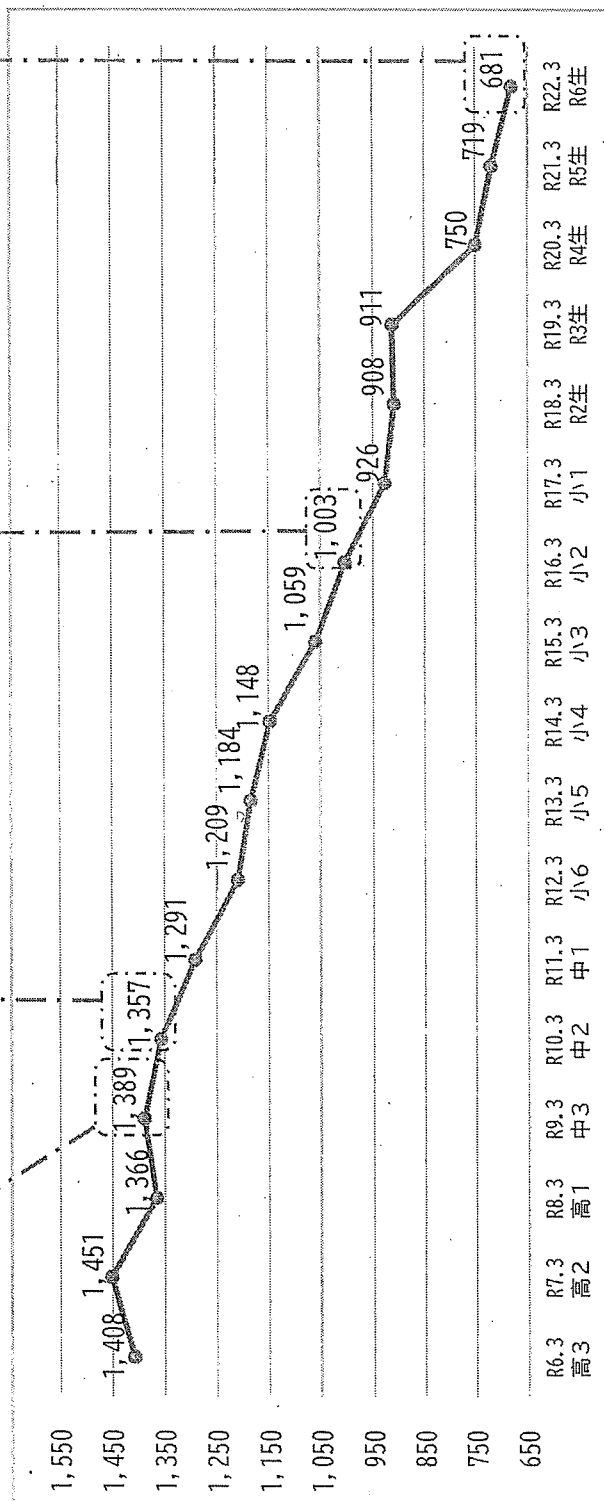
10～12 学級程度

16～17 学級程度

22 学級規模程度

23 学級規模

上野高校 (普6)	上野高校	伊賀地域の 県立高校 (全日制)	伊賀北部 1校
あけぼの学園高校 (総1)	伊賀白鳳高校		伊賀南部 1校
伊賀白鳳高校 (専7)	名張高校		
名張高校 (総5)	名張青峰高校		
名張青峰高校 (普5)			



※ 中3から小1までは、R8.5.1現在の在籍者数、R2年度生まれまでは、昨年度時点の出生数のデータに基づいて作成しています。